

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 14 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	大風 薫
研究課題	①社会課題解決のための商品・サービス開発とそのマネジメントに関する研究、②女性の金融ケイパビリティに関する研究				
研究キーワード	持続可能性、エシカル、金融ケイパビリティ	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	5. ジェンダー平等を実現しよう	12. つくる責任 つかう責任	3. すべての人に健康と福祉を	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	

1. 研究成果の概要

研究課題①：サステナビリティやエシカル消費に関する文献研究を実施し、マーケティング分野におけるサステナブルな消費の促進要因は「社会的影響」「習慣形成」「個人の自己」「感情と認知」「具体性」によって説明できることが提案されていることがわかった。また、具体的な事例検討として、持続可能性やエシカル消費についてもっとも問題を抱えるアパレル業界での先駆的取り組みを学ぶため、カイハラ株式会社(広島県福山市)を訪問し、工場見学および意見交換を行った。カイハラ株式会社は SDGs が認知される以前から染色工程における水の汚染対策を始めており、そのきっかけの1つが、工場周辺の優れた水質環境を劣化させることで周辺住民に迷惑をかけたくないという意識であったという。周辺住民との関係性が近い地場産業ならではのきっかけとして大変興味深かった。本課題については、インタビュー対象企業を拡大し、事例研究として成果報告を行うことを来年度の課題としたい。

研究課題②：2024 年 3 月までに実施した生活者インタビューおよび京都信用金庫・ファイナンシャルアドバイザーへのヒアリングをまとめ、所属学会のシンポジウムで報告した。また、金融行動に関する生活者調査のデータを分析した結果を論文として発表できた。次年度も引き続き調査を進め、既存データの分析を行い、学会報告および論文執筆を実施することが課題である。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文(査読あり)】

なし

【著書・論文(査読なし)】

大風薫(2025)「シングル女性の金融ケイパビリティ—生活設計の視点から—」『生活経営学研究』No.60, 10-18.

大風薫(2024)「現役世代男女の資産形成とメンタルヘルス—資産の種類及びジェンダー差異に注目して—」『個人金融』, Vol.19, No.3, 13-24.

上村協子・大風薫(2024)「相続・事業承継にみる女性と財産—高齢者の資産管理との関係から—」一般社団法人 ゆうちょう財団, 家計経済に関する助成研究報告書.

【学会発表等】

大風薫(2024)「シングル女性の金融ケイパビリティ—生活設計の視点から—」一般社団法人日本家政学会生活経営学部会夏期セミナー.

3. 主な経費

企業およびファイナンシャルアドバイザーとの意見交換のため、広島県や京都府出張を行った。
文献研究のための関連書籍を購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【科学研究費】

・若手研究：令和4年度～令和8年度、代表、課題名「未婚女性のライフコースと金融ケイパビリティ：貧困リスクの低下に向けた実証研究」（22K13602）

（本文は2ページ以内にまとめること）